第3種郵便物認可

コンクリ補強材 製造装置県外へ

リュウクスと開邦工業 共同開発

効率2倍に向上

コンクリートの強度を高める高品質微粒子・フライアッシュ(FA)を製造するリュウクス(うるま市)は、高品質FAの製造装置の販売に乗り出す。ごみ焼却炉メーカーの開邦工業(同)と共同で、設置費や電気代などのコストを抑え、製造効率を2倍に高めた高品質FA製造装置を開発。大手商社と組み、県外での普及を目指す。(政経部・照屋剛志)

県外出荷を狙ったフライアッシュ製造装置を開発した謝花社長(右)と開邦工業の玉寄将代表＝5日、うるま市・開邦工業

高品質FAは、火力発電所などから排出される石炭灰を高熱処理し、不純物を取り除いて作る。コンクリートに混ぜると化学反応を起こし、コンクリートのすき間を埋める効果がある。

この効果によってコンクリートの強度が高まり、塩分や水分の浸入を防いで劣化も抑える。粒子が細かいほど効果が上がり、リュウクスは高品質FAの製造方法などで特許を取得している。

新たな装置は高さ3㍍、幅5㍍ある。円筒形のサイロ内で、同社が持つ特許技術で開発したプロペラを回転させ、フライアッシュを砕く。プロペラは軽い微粒子を吹き上げるよう角度が設計され、吹き上げられた微粒子が製品となる。

プロペラを使うことで、従来は三つだったサイロを一つにできた。電気の使用量も10分の1に抑制。1時間当たりの製造量はこれまでの2倍の1㌧となった。

県外出荷を見据え、サイロと架台を組み合わせる設計を考案。輸送が便利になり、設置工事の負担も減らせた。

高品質FAはコンクリートだけでなく、ゴムや樹脂などの強度を高める可能性もあり、注目され始めている。リュウクスは火力発電所のほか、コンクリートやゴム、樹脂などの製造会社などへ新装置を売り込む考えだ。リュウクスの謝花一成社長は「沖縄で培った技術を県外へ発信していきたい」と意気込んだ。